



JR連合 NEWS

JRに集う
すべての仲間の
JR連合への
総結集を！！

2021 年度

No. 78

2022年2月10日

日本鉄道労働組合連合会

JR東海ユニオン第36回中央委員会

「未来志向」「ONE TEAM」で幸せの実現をめざす！



JR東海ユニオンは2月8日、静岡市内で「第36回中央委員会」を開催した。今回は、新型コロナウイルス感染拡大の第6波襲来を鑑み、万全の感染症対策のもと、オンライン形式を併用しての開催となった。同委員会で2022春季生活闘争をはじめ、当面する諸課題の解決にむけて、全組合員が一丸となって取り組むことを確認した。

冒頭、主催者を代表し挨拶に立った尾内裕昭中央執行委員長（JR連合副会長）は、日夜、安全安定輸送の確保に奮闘する組合員に敬意を表し、①安全の確立、②組織の活性化、③ハートフルカンパニーの実現、④政治活動について所信を述べるとともに、2022春闘について、「足元で若年層を中心に離職が進行している。今春闘では、中長期的な視点から『人財の投資』『働きの価値に応じた賃金』を追求し、JR産業に『安心』を取り戻し、仕事への誇りや自信を回復させるとともに、将来に亘る組合員・家族の幸せを実現できるよう、『未来志向』『ONE TEAM』で取り組もう」と呼び掛けた。



また、JR連合からは、鎗光俊勝労働政策部長が出席し、「JR産業の回復と発展にむけて、私たちは歩みを止めてはならない。仲間寄り、社会変容をしっかりと見据え、柔軟な発想で希望を生み出し、未来を切り拓いていこう」と挨拶した。

議事では、執行部から「標準係数を4とした定期昇給の年度初完全実施」「ベア1,000円」「夏季手当2.7箇月」を掲げる2022春闘方針を含む当面の活動方針が提起された。これに対し、13名から安全の確立や春闘方針の補強、働き方改革、ダイバーシティ推進、会社施策、交運共済からこくみん共済coopへの契約移転などについて発言があった。

その後、今井孝治書記長の総括答弁を経て、全ての議案が満場一致で採択された後、尾内委員長が団結がんばろうで委員会を締めくくった。